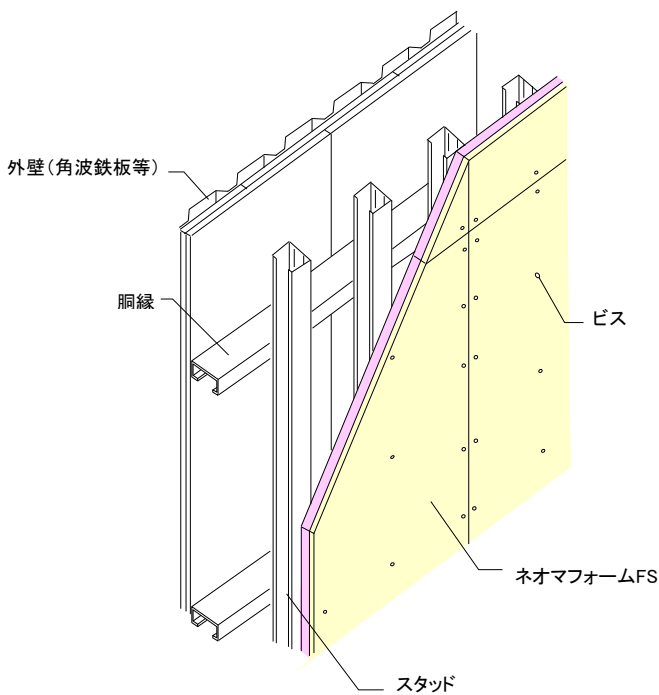


「専門工事業者様用」

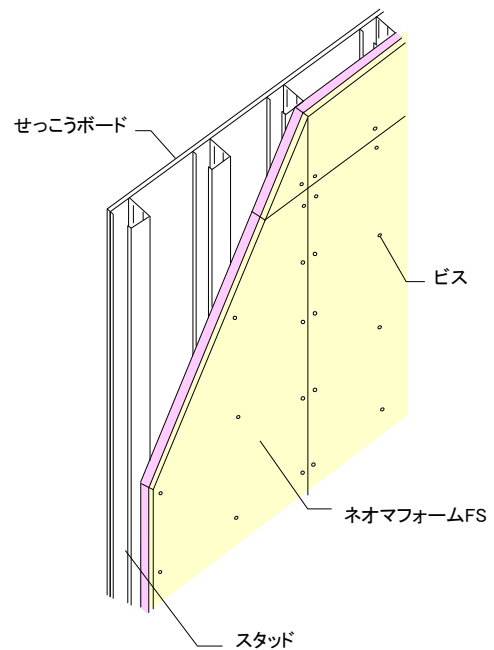


鉄骨造等建築用鋼製下地材（LGS）下地  
ネオマフォームFS  
内断熱 壁・天井施工マニュアル

【内壁】



【間仕切】



2021年10月

旭化成建材株式会社

## 目次

本書のご使用にあたって.....	1
1. 適用範囲.....	2
2. 製品規格.....	2
(1) ネオマフォームF S.....	2
(2) 副資材.....	2
3. 施工方法.....	3
3. 1 フローチャート.....	3
3. 2 施工手順.....	3
(1) ネオマフォームF S搬入・仮置き.....	3
(2) 下地の確認.....	3
(3) 墨出し.....	3
(4) ネオマフォームF S張付、ビス留め.....	4
(5) 取合部シーリング打設.....	6
(6) コンセントボックス、引掛シーリング等の取付.....	6
(7) 補修.....	6
(8) クロス仕上げ（クロス仕上げを行う場合）.....	6
(9) 幅木、廻り縁の設置.....	7
4. 参考納まり図.....	8
(1) 内壁 アイソメ図.....	8
(2) 内壁 矩計図.....	9
(3) 内壁 一般部 断面詳細図.....	10
(4) 内壁 出隅部 断面詳細図.....	11
(5) 内壁 入隅部 断面詳細図.....	12
(6) 内壁 開口部 断面詳細図.....	13
(7) 内壁 S D開口部 断面詳細図.....	14
(8) 間仕切 アイソメ図.....	15
(9) 間仕切 矩計図.....	16
(10) 間仕切 一般部 断面詳細図.....	17
(11) 間仕切 出隅部 断面詳細図.....	18
(12) 間仕切 入隅部 断面詳細図.....	18
(13) 間仕切 開口部 断面詳細図.....	19
(14) 間仕切 S D開口部 断面詳細図.....	20
(15) 間仕切 天井切取合部 断面詳細図.....	21
(16) 間仕切 床取合部 断面詳細図.....	21
(17) コンセントボックス 断面詳細図.....	22
(18) 天井 アイソメ図.....	23
(19) 天井 一般部 断面詳細図.....	24
(20) 天井 点検口 断面詳細図.....	25
(21) 天井 引掛シーリング 断面詳細図.....	25
ネオマフォームF S 取扱い注意事項.....	26
免責事項.....	26

## 本書のご使用にあたって

本施工マニュアルは、専門工事業者様向けに、「ネオマフォームFS（ネオマフォームー普通せっこうボード12.5mm貼合品）」を使用した内断熱の内壁・間仕切・天井における標準的な施工方法（スタッドや野縁等軽鉄下地工事以降）を示したものです。工事にあたり、事前に本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

なお、本マニュアルの記載と異なる場合等、本書の内容についてのお問合せは、当社にお尋ねください。




## <特に注意>

以下の項目に関しては、特にご注意ください。併せて、末頁の取扱注意事項もご確認ください。

- ・本製品は、**屋内専用**です。また、屋内であっても**水掛かりがある場所（浴室、サウナ等）には使用出来ません。**
- ・本製品は、**内壁・間仕切壁、天井専用**です。**床部位には使用出来ません。**
- ・ネオマフォームFSは、**建築用鋼製下地材（LGS）に必ずビス留め**してください。接着剤のみの固定はできません。
- ・施工中の製品の**保管・仮置きは屋内とし、直射日光のあたる場所や雨濡れ等、水分の接する場所は避けてください。**
- ・エアコン・壁掛けテレビ・照明等の**重量物は、必ず別途設けた下地等で支持**するようにしてください（ネオマフォームFSのみで固定はできません）。
- ・施工中、**十分換気**を行ってください。
- ・室内の換気及び**結露防止**のために、有効な処置を行ってください。
- ・外壁の内壁の**開口部等**には予め現場発泡ウレタン等で**断熱補強**を行ってください。
- ・**間仕切**の場合、必要に応じて**小屋裏の空気が間仕切内に入らないような通気止めの設置**を検討してください。
- ・外壁の内壁、最上階の天井等で、**外壁、屋根が無断熱もしくは、断熱性能が低い場合は結露が発生する可能性があるため、十分な対策**を行ってください。
- ・ネオマフォームFSに使用している普通せっこうボードは、ロット毎に色違いが発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## <安全に関する注意>

本マニュアルの中で特に注意していただきたい事項については、各項目ごとに下記の表示をしています。

-  : このマークは設計上および安全上注意していただきたい箇所に表示してあります。
-  注意 : 取扱いを誤った場合に人が損傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される場合に表示してあります。
-  警告 : 取扱いを誤った場合に人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合に表示してあります。

## 1. 適用範囲

本施工マニュアルは、ネオマフォームFS（ネオマフォーム-せっこうボード複合品）を使用した建築物の内壁・間仕切・天井断熱工事に適用します（建築用鋼製下地（スタッドや野縁等）は、下地メーカー様の仕様に基づき、条件に適合したメンバー、ピッチをご採用ください）。

なお、火気使用室等で、内装制限がある場合、その部分は法規制に従うものとします。

※本施工マニュアルは、専門工事業者様による施工の標準を示したものであり、個別の建物への施工においては、実状に応じて、適切な施工方法とする必要があります。

## 2. 製品規格

### (1) ネオマフォームFS

表-2 ネオマフォームFS 製品規格

品番	厚さ[mm]			幅×長さ [mm]	重量※1	熱抵抗※2 [m <sup>2</sup> ・K/W]
	ネマフォーム	せっこう ボード	総厚		kg/m <sup>2</sup>	
FS-20	20	12.5	32.5	910×1820	9.2	1.0
FS-25	25		37.5		9.4	1.3
FS-30	30		42.5		9.5	1.5
FS-35	35		47.5		9.6	1.8
FS-50	50		62.5		10.0	2.5

※1：重量の代表値

※2：ネオマフォーム単体（せっこうボードの断熱性能を含まない）の熱抵抗

※せっこうボード側の端部形状はベベルエッジです。

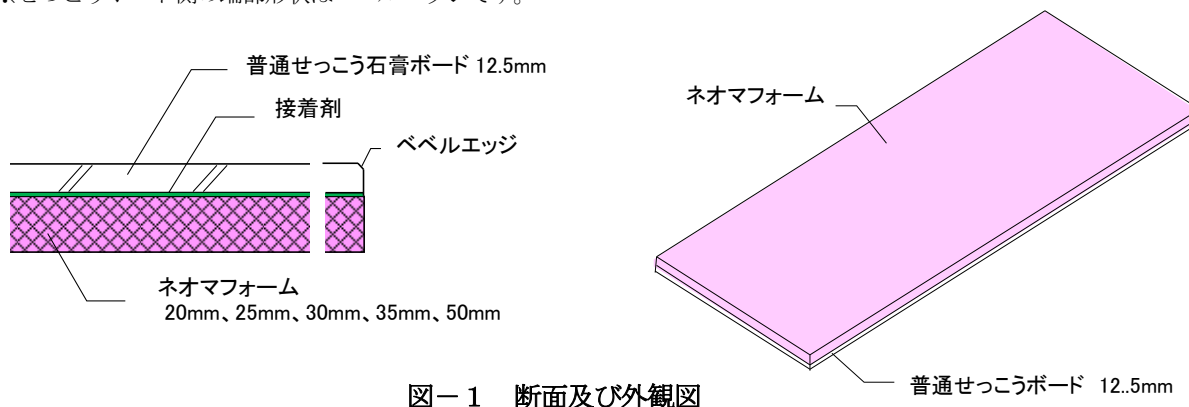


図-1 断面及び外観図

### (2) 副資材

#### ①ビス（ねじ）：ドリリングタッピンねじ（ラップ頭・とがり先）

径：φ3.8以上、長さL=ネオマフォーム+せっこうボード厚さ+10mm以上

材質：SWCH 18A（または相当品）、めっき：電気亜鉛めっき（または同等以上）

#### ②シーリング材

アクリル系、ウレタン系シーリング材（色：ホワイト系）

※シーリング材は、**ネオマフォームFS張付面（裏面）への湿気浸入防止（防露）**を目的とします。  
従って、粘性のあるタイプを使用してください。

※**クロス張り**をする場合は、**ウレタン系シーリング材**を推奨します。せっこうボード表面にシーリング材がはみ出した場合、目地処理のパテ材の付着力が低下したり、仕上げクロスが変色する可能性があります。

### 3. 施工方法

#### 3. 1 フローチャート

図-2に施工フローを示します。

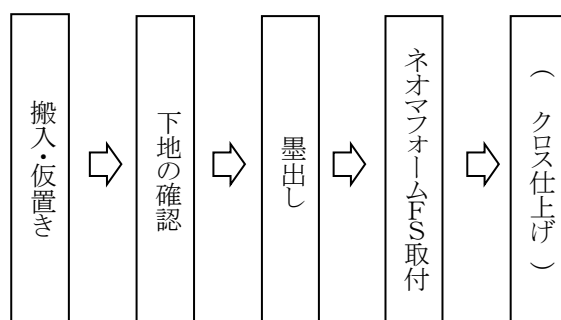


図-2 施工フローチャート

#### 3. 2 施工手順

##### (1) ネオマフォームFS搬入・仮置き

- ・ネオマフォームFSを搬入し、所定場所に仮置きします。
- ・仮置き・保管は、**屋内等**で行い。**直射日光のあたる場所**や、**雨濡れ等**、**水分の接する場所は避けて**ください。
- ※仮置き・保管の際は、**ネオマフォームFS長さの1/5～1/6の位置に 台木を設置**してください。
- ・小運搬で小端立てする場合等は、**ネオマフォームFSを傷つけないように**してください。

##### (2) 下地の確認

- ▲ ・スタッドや野縁の**状況を確認**します。
- ▲ 警告 ・ネオマフォームFSの**重量**に対し、**下地の強度が十分であることを確認**ください。
- ▲ 警告 ・**エアコン等の重量物は、必ず別途下地で支持**するようにしてください（ネオマフォームFS部のみで固定は出来ません）。

##### (3) 墨出し

- ・**下地の位置**を確認し、**墨出し**をします。

#### (4) ネオマフォームFS取付、ビス留め

##### ①壁施工の場合

- ・ネオマフォームFSをシーリング目地を作るために床から**5~10mm程度浮かせて**設置します。
- ・ネオマフォームFSの**せっこうボード面が室内側**になるようにしてください。
- ・ネオマフォームFSの上からスタッドに**ビスで固定**します（**ビスピッチ、へりあき**は、**表-2参照**）。
- ▲・ビスは、せっこうボードの表面とビス頭が**平らになるかやや凹み加減程度**に留めつけてください。あまり強く打ちこんでボード表面からめり込み、せっこうボード原紙を切断しないように注意してください。
- ・ネオマフォームFSは**隙間が開かないよう留意して設置**してください。
- ▲・**内壁の開口部等**については、事前に現場発泡ウレタン等で**断熱補強**を実施してください。
- ▲・**間仕切の場合**、必要に応じて**小屋裏の空気が間仕切内に入らないような通気止めの設置**を検討してください。
- ▲・**横目地**は防露のため、相番で**シーリングを5mm程度のビード**で打設します。
- ・出隅、入隅等については、ネオマフォームFS同士が接する部分にも**シーリング材**を相番で打設してください。

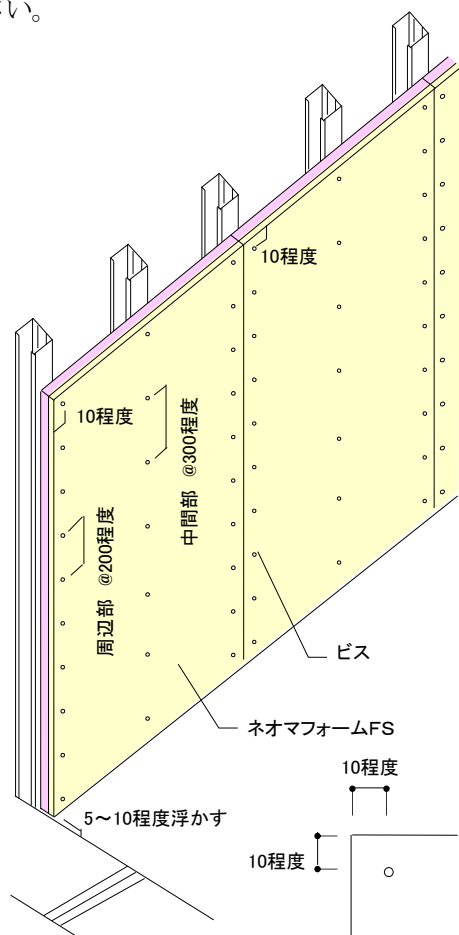


図-3 壁ネオマフォームFS取付方法

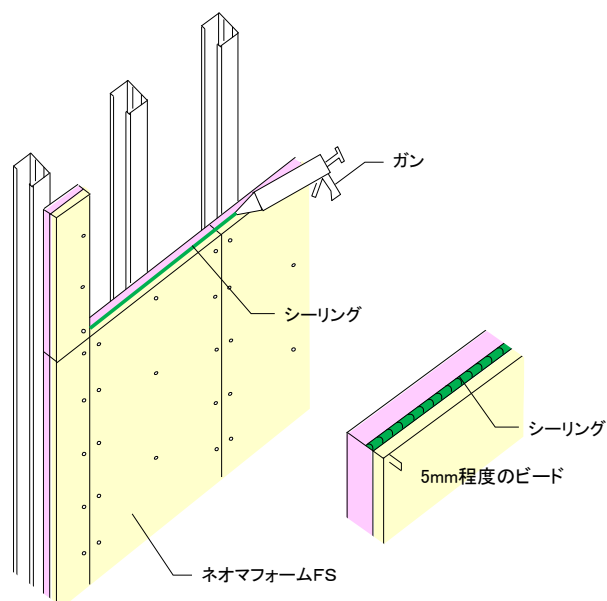


図-4 横目地シーリング打設方法

表-2 ビス留付けピッチ、へりあき (mm)

施工箇所	ネオマフォームFS長さ方向		ネオマフォームFS幅方向	へりあき
	周辺部	中間部		
壁	@200程度	@300程度	@455 (下地) 以下	10程度

## ②天井施工の場合

- ・ネオマフォームFSのジョイント部にWバーが位置するように取付けてください。
- ・ネオマフォームFSのせっこうボード面が室内側になるようにしてください。
- ・ネオマフォームFSの上から野縁にビスで固定します（ビスピッチ、へりあきは、表-3参照）。
- ▲・ビスは、せっこうボードの表面とビス頭が平らになるかやや凹み加減程度に留めつけてください。あまり強く打ちこんでボード表面からめり込み、せっこうボード原紙を切断しないように注意してください。
- ▲・横目地は、防露のため、相番でシーリングを5mm程度のビードで打設します。
- ・点検口周りも5~10mm程度空けてバックアップ材を設置し、シーリングを打設してください。

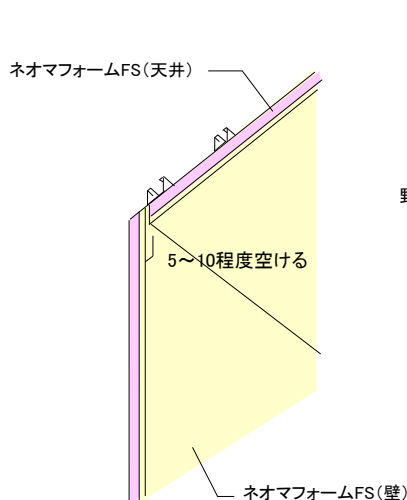


図-5 天井設置方法(壁取合い部)

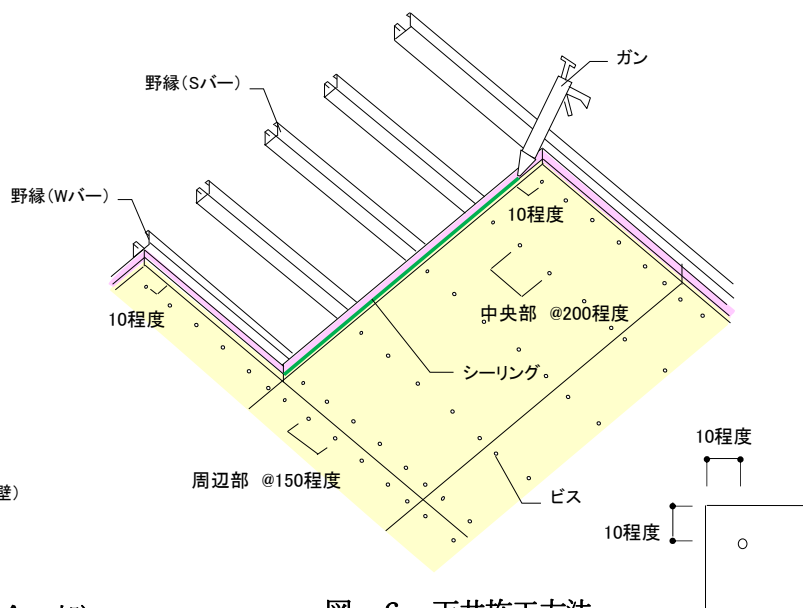


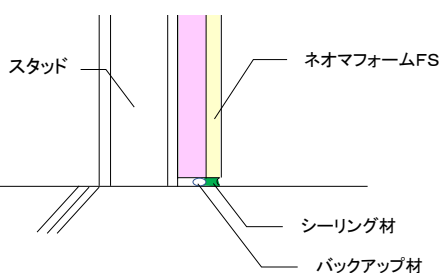
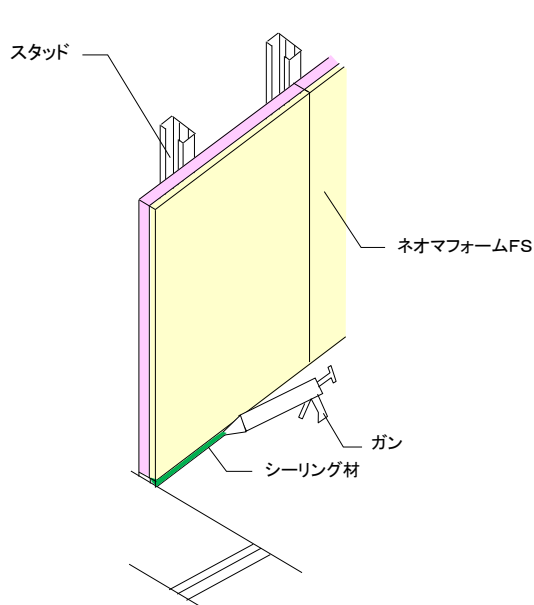
図-6 天井施工方法

表-3 ビス留付けピッチ、へりあき (mm)

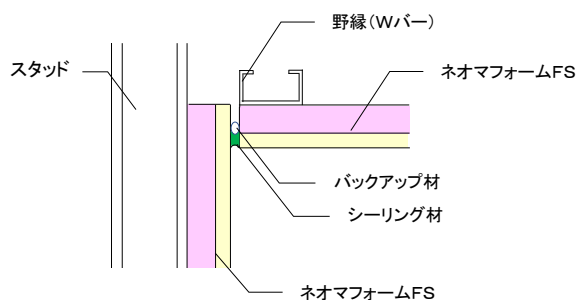
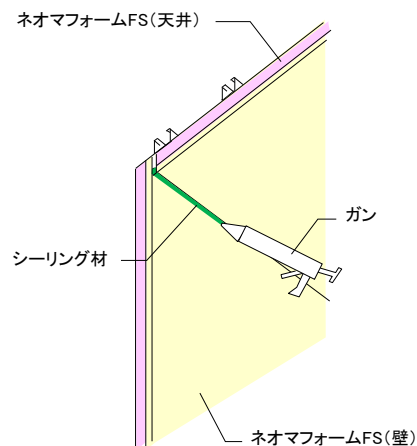
施工箇所	ネオマフォームFS長さ方向		ネオマフォームFS幅方向	へりあき
	周辺部	中間部		
天井	@150程度	@200程度	@455(野縁)以下	10程度

## (5) 取合部シーリング打設

- ・壁・床、壁・天井取合部及び隙間が空いている箇所にバックアップ材を挿入し、**シーリング**を打設してください。



図一七 壁・床取合部シーリング施工方法



図一八 壁・天井取合部シーリング施工方法

## (6) コンセントボックス、引掛シーリング等の取付

- ・コンセントボックスは、気密カバー（インナータイプ）等を用い、コンセントボックスに長ビスで固定してください。
  - ・引掛シーリング（天井付けコンセント）は、**シーリングや気密テープ処理等**を行うとともに、野縁に確実に取付けてください。
- ※コンセントボックス、引掛シーリングなどの**電気配線工事は、必ず有資格者**が行ってください。

## (7) 補修

- ・ネオマフォームFSのネオマフォーム部分については、その部分を切り取り、ネオマフォームを貼り直してください。
- ・せっこうボード部分については、小さな欠けやビス穴間違い等の小穴は、クロス時のパテ処理で補修します。大きな欠けや穴あけ間違い等に関しては、ネオマフォームFSの張替等で対応してください。

## (8) クロス仕上げ（クロス仕上げを行う場合）

- ・クロスメーカーの仕様に従って、クロス張りを行ってください。



※出隅等、クロス切れやすい部分に関しては、**コーナーボード等の使用**をお勧めします。

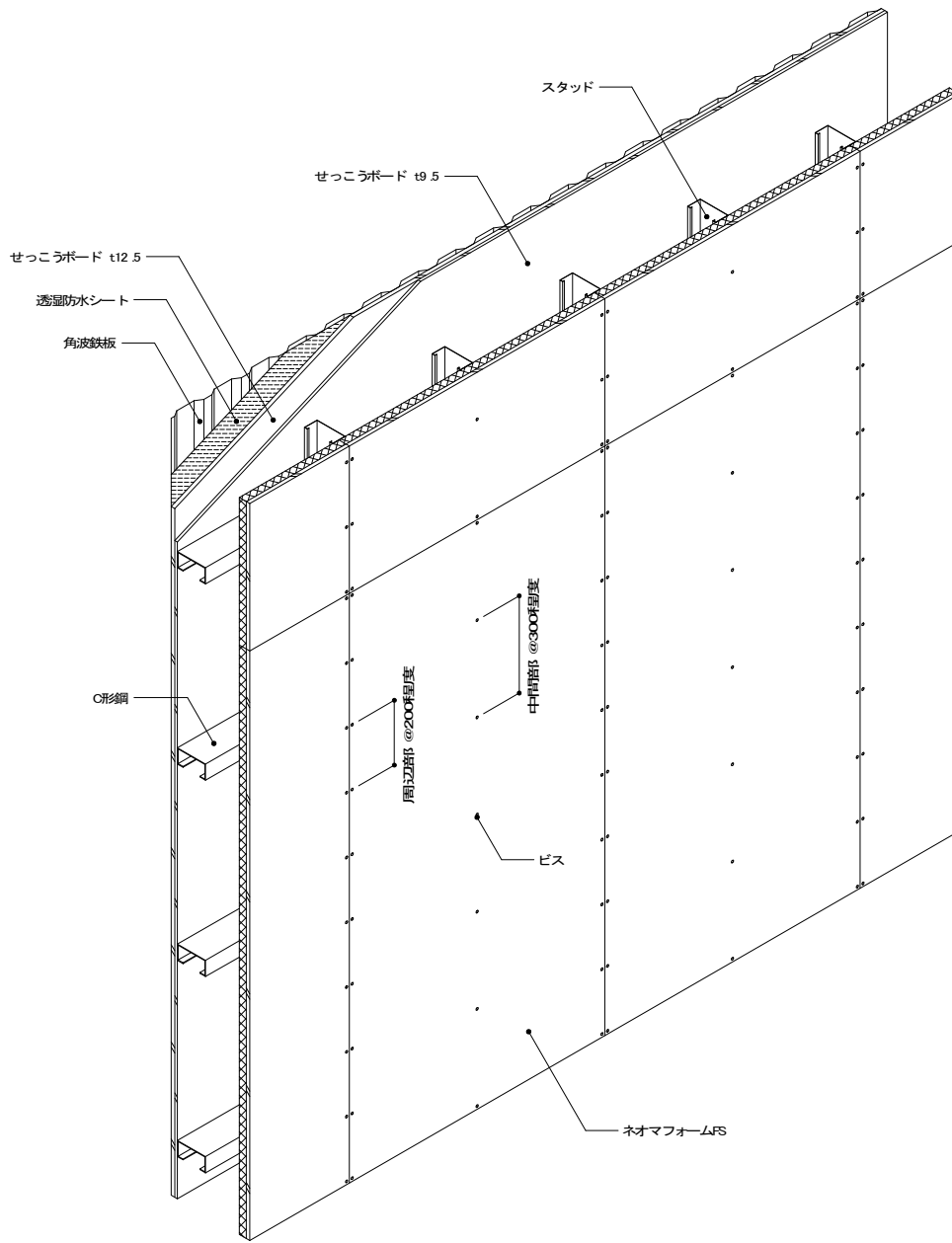
※**ネオマフォームFSの目地とクロスが目地**が近いと急激な乾燥等により、クロスが目地が開きやすいため相互の目地は**100mm以上離して**ください。

#### **(9) 幅木、廻り縁の設置**

- ・壁・床との取合部に幅木を、壁・天井取合部に廻り縁を設置してください。

#### 4. 参考納まり図

##### (1) 内壁 アイソメ図



【ネオマフォームFS ビスピッチ】

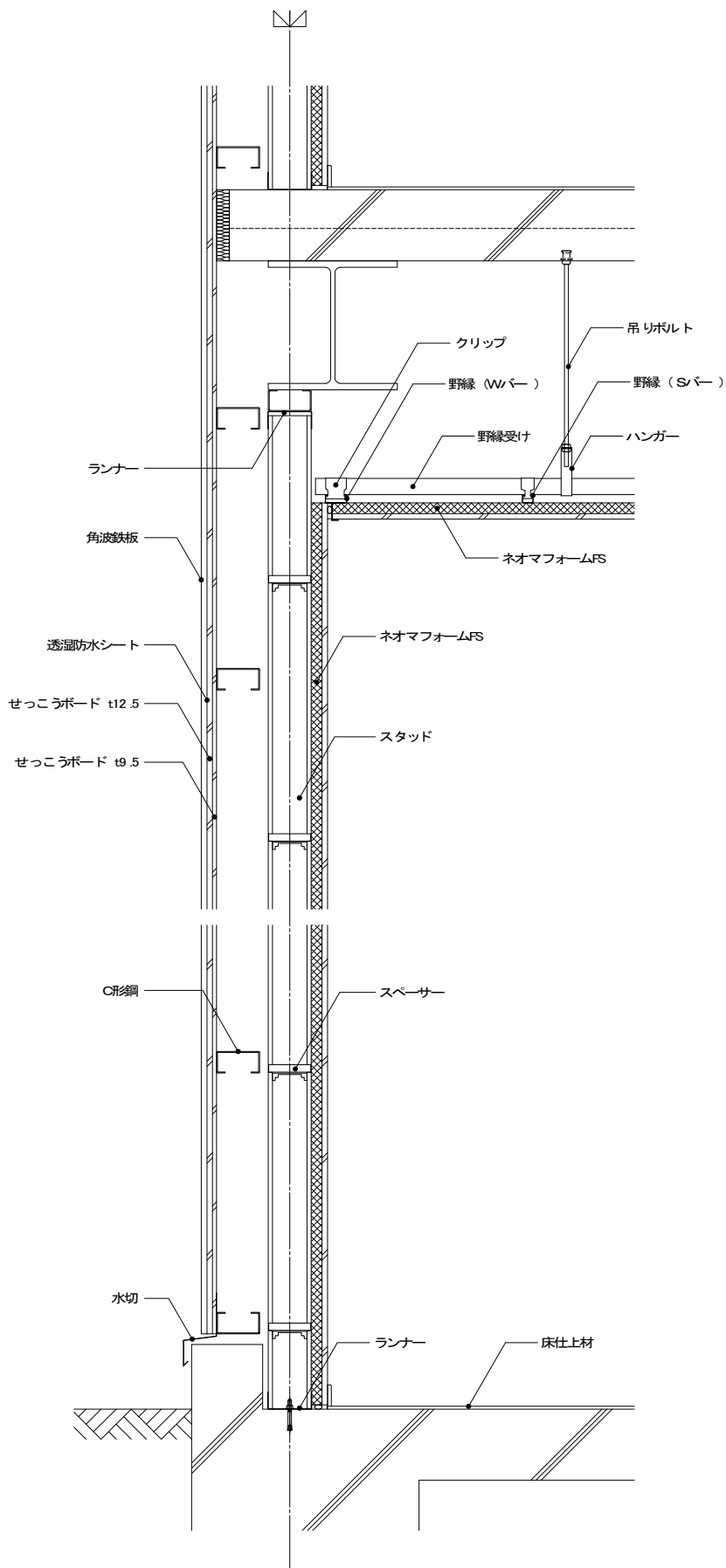
・周辺部 : 200程度

・中間部 : 300程度

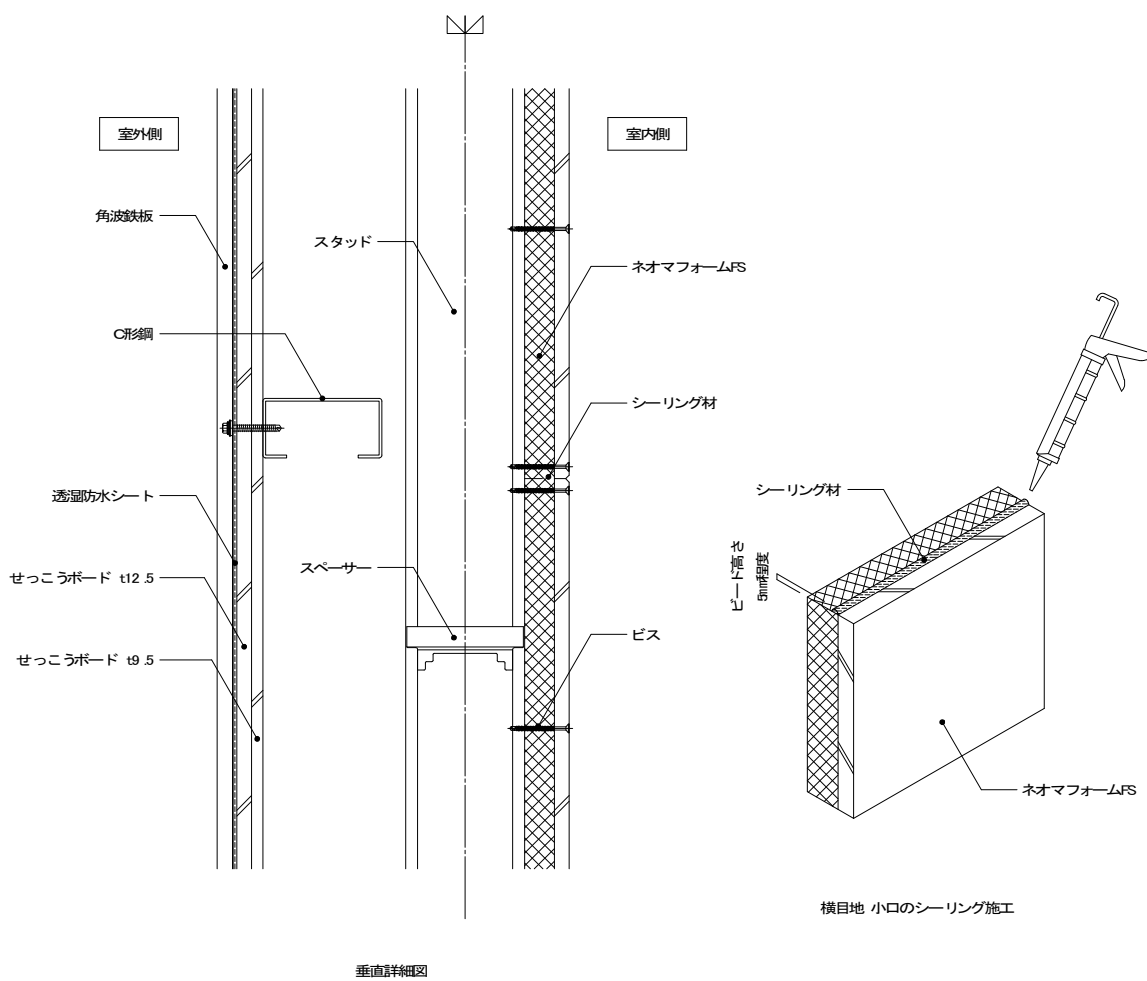
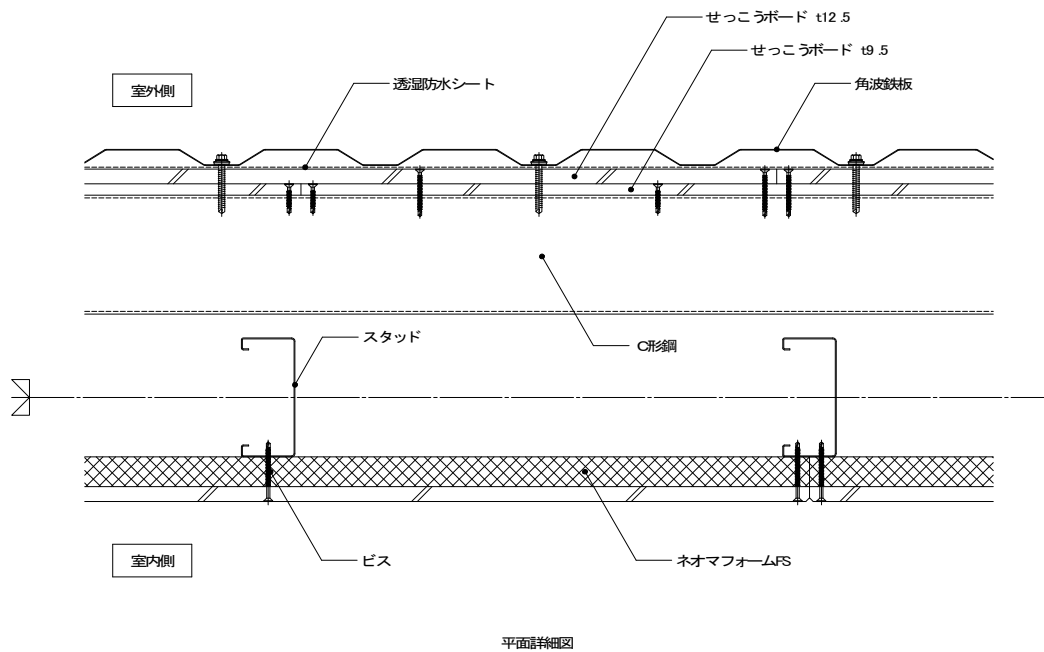
※外壁は一般的な防火構造（石膏ボード2枚張り+角波鉄板）を一例として記載

外壁の内壁、最上階の天井等で、外壁、屋根が無断熱もしくは、断熱性能が低い場合は結露が発生する可能性があるため、十分な対策を行ってください。

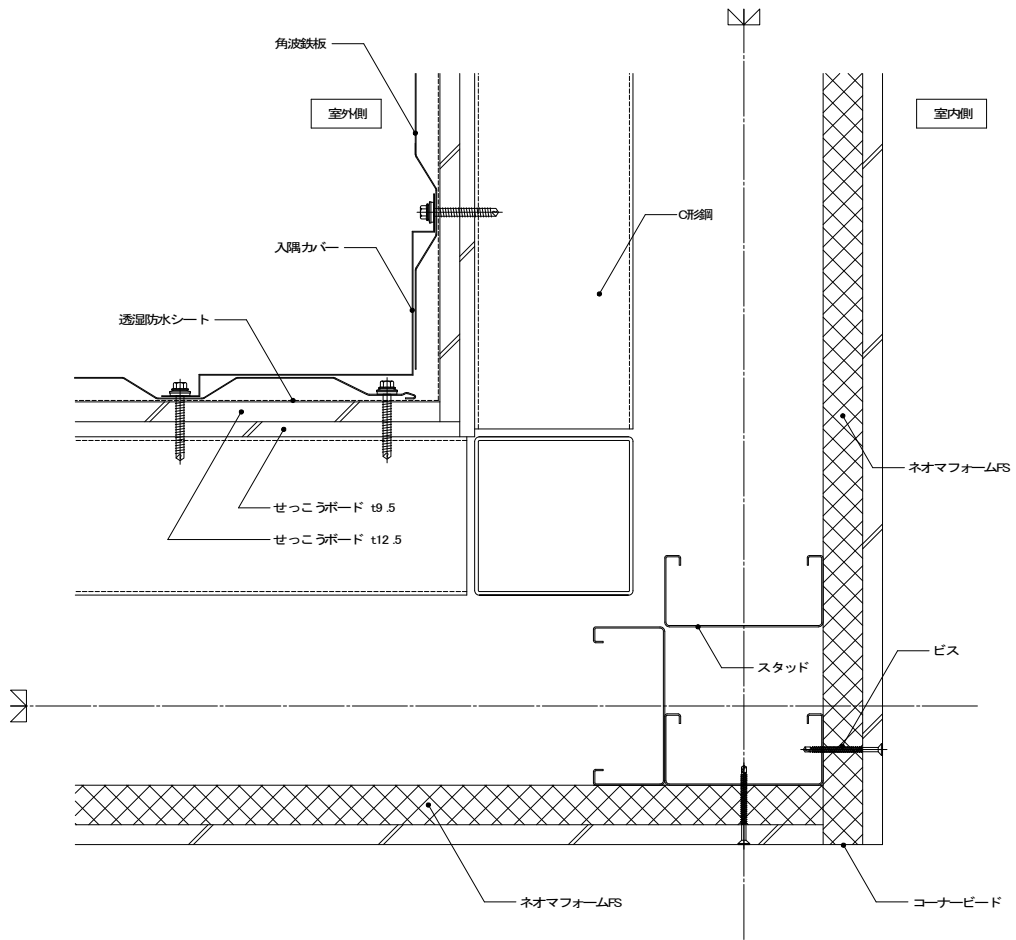
(2) 内壁 矩計図



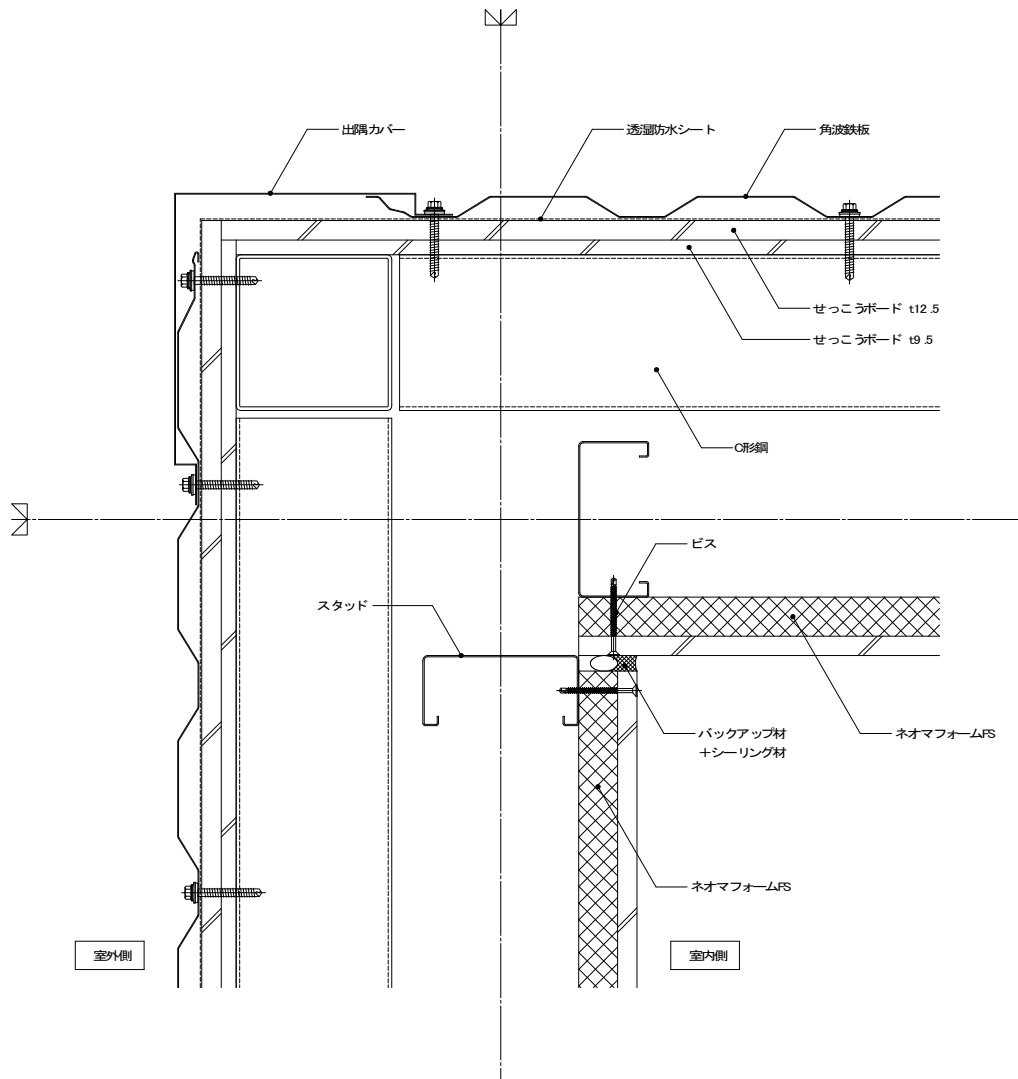
### (3) 内壁 一般部 断面詳細図



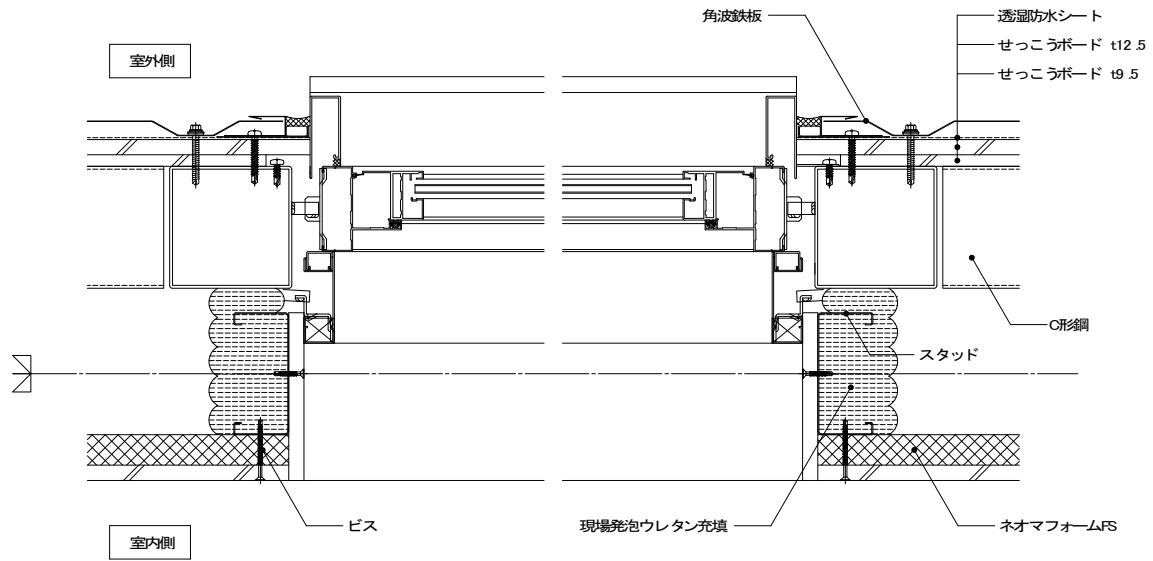
(4) 内壁 出隅部 断面詳細図



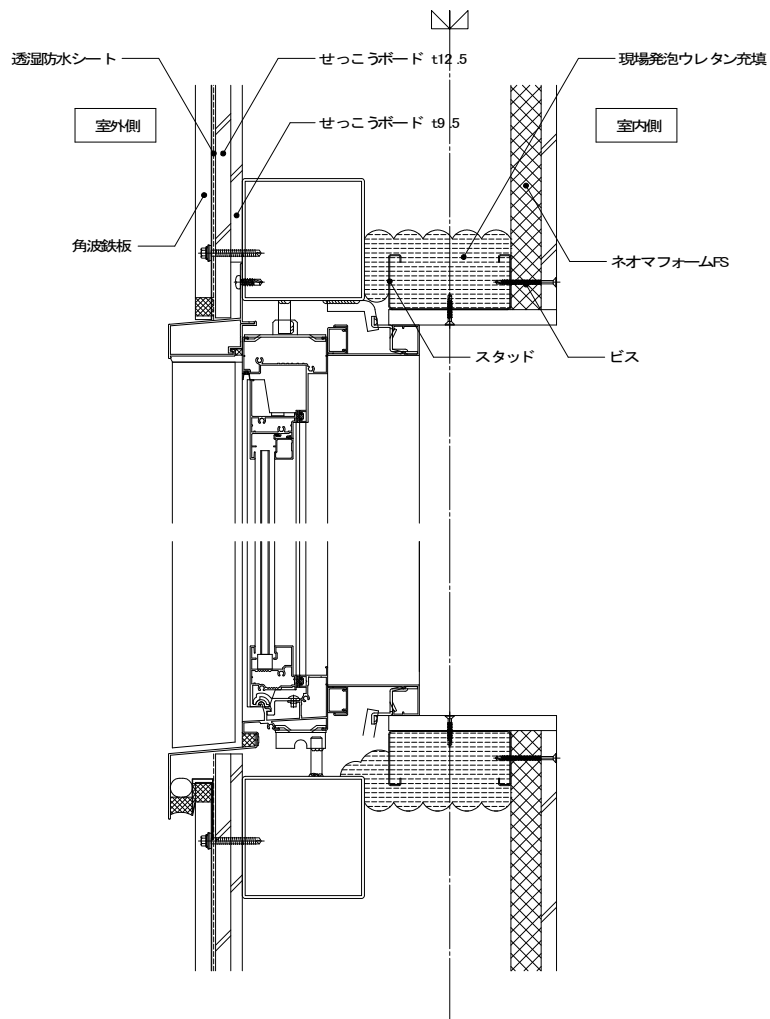
(5) 内壁 入隅部 断面詳細図



(6) 内壁 開口部 断面詳細図

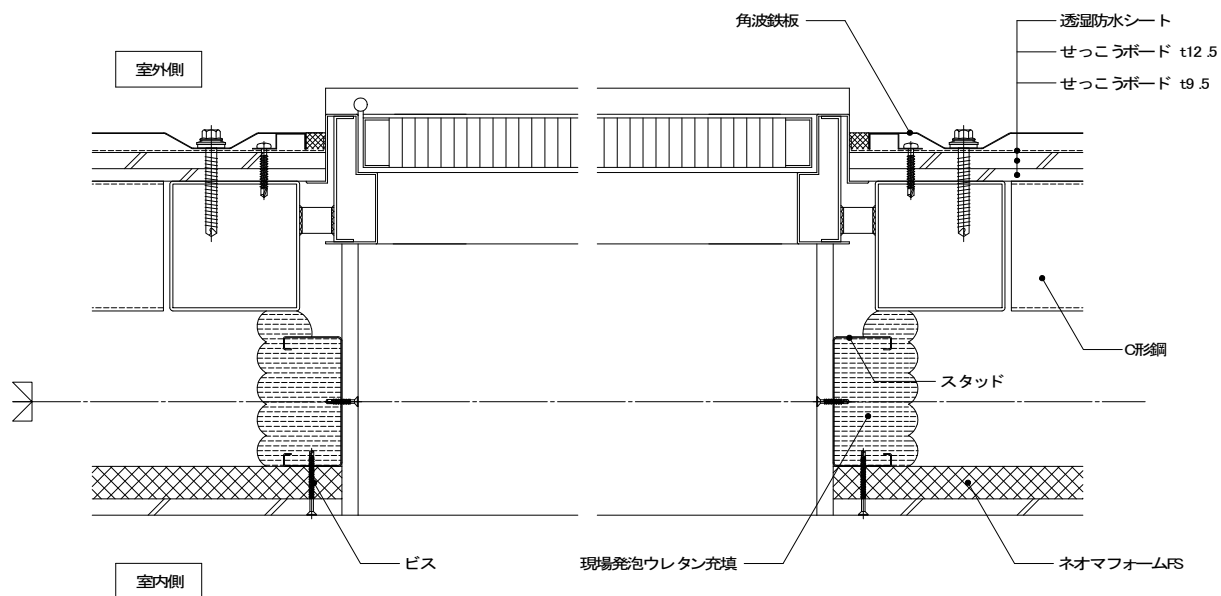


平面詳細図

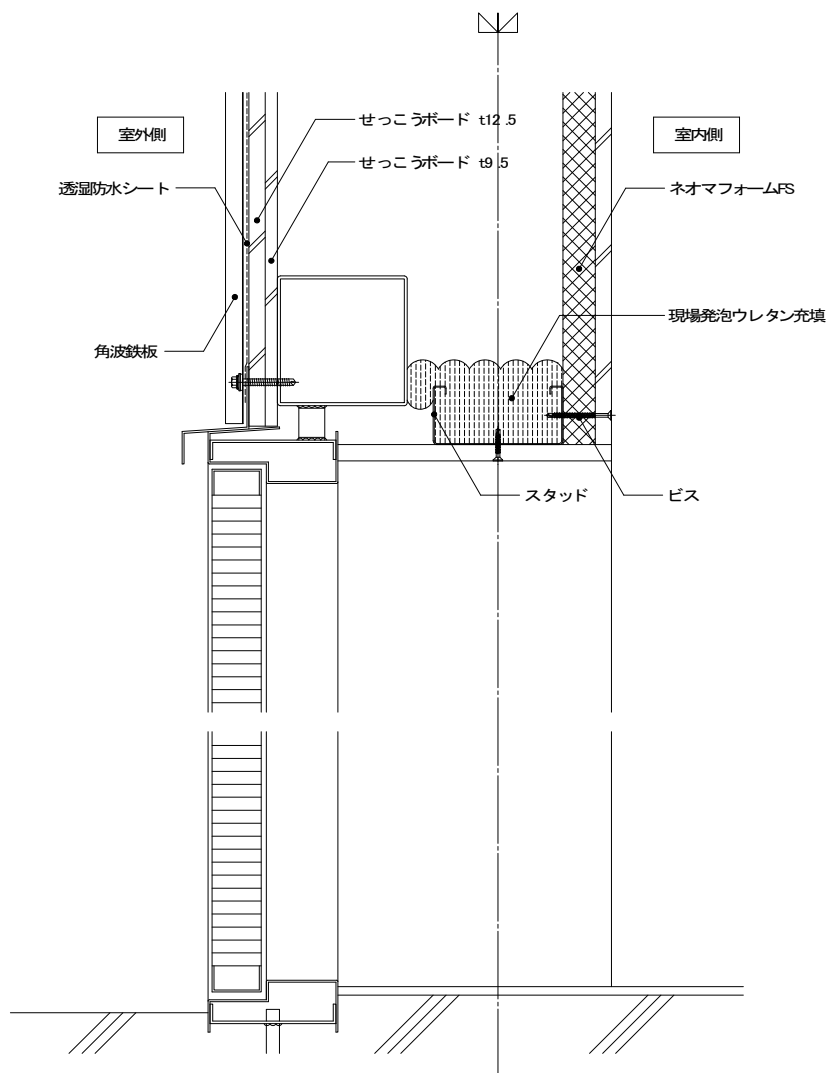


垂直詳細図

(7) 内壁 SD開口部 断面詳細図



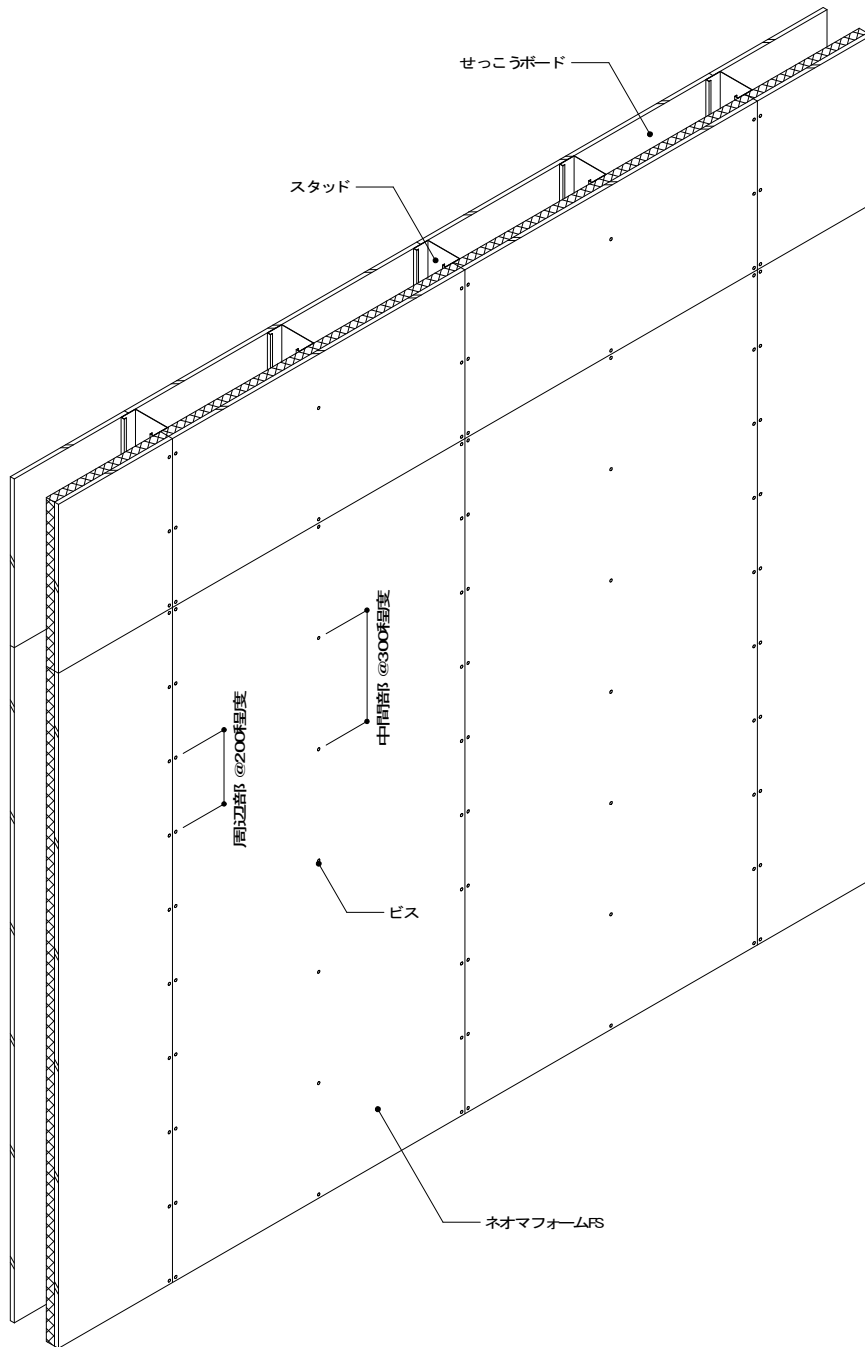
平面詳細図



垂直詳細図



(8) 間仕切 アイソメ図

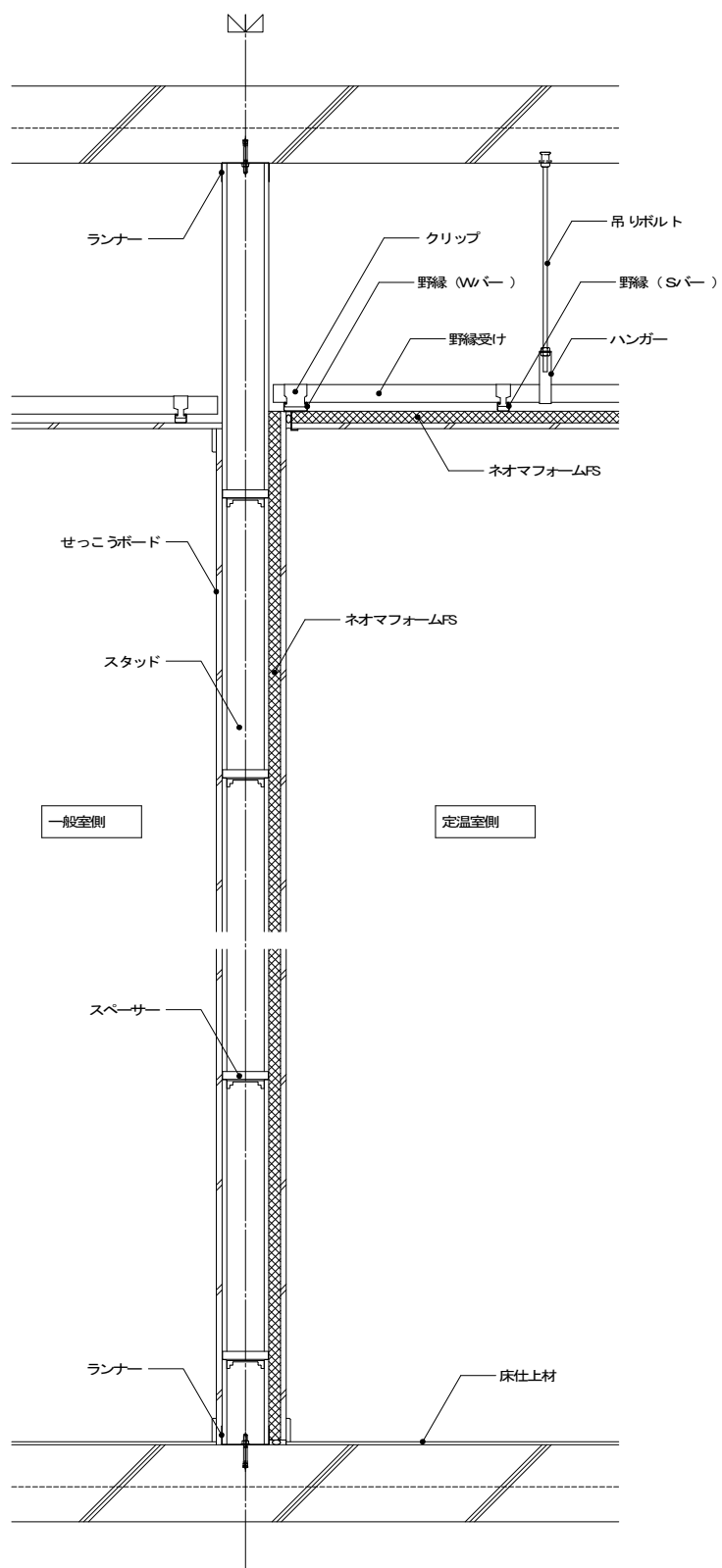


【ネオマフォームFS ビスピッチ】

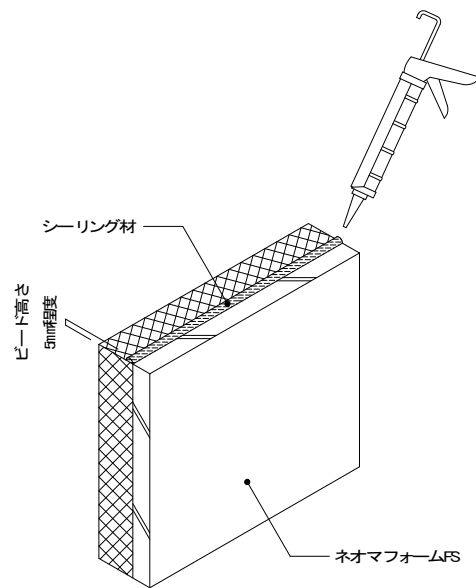
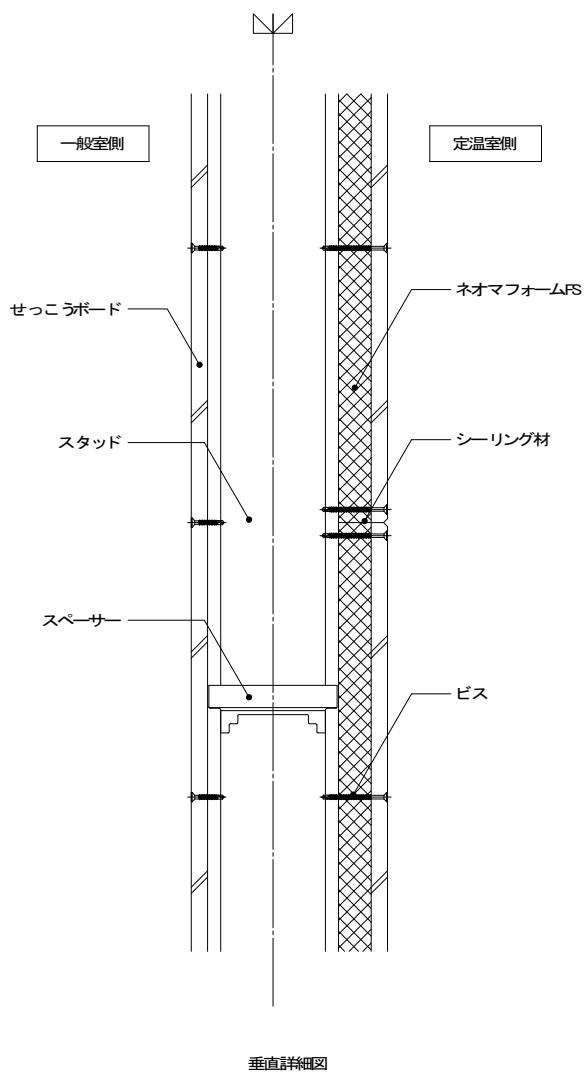
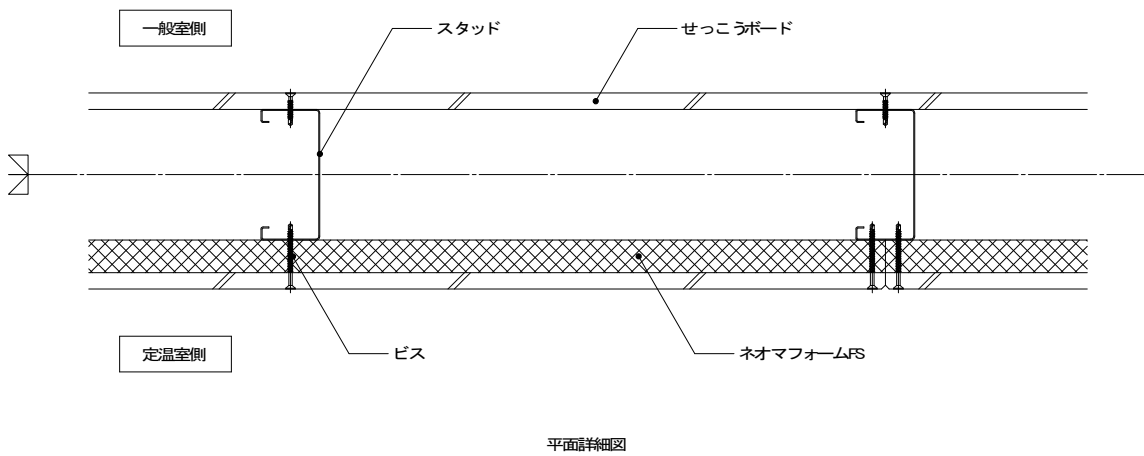
・周辺部 : 200程度

・中間部 : 300程度

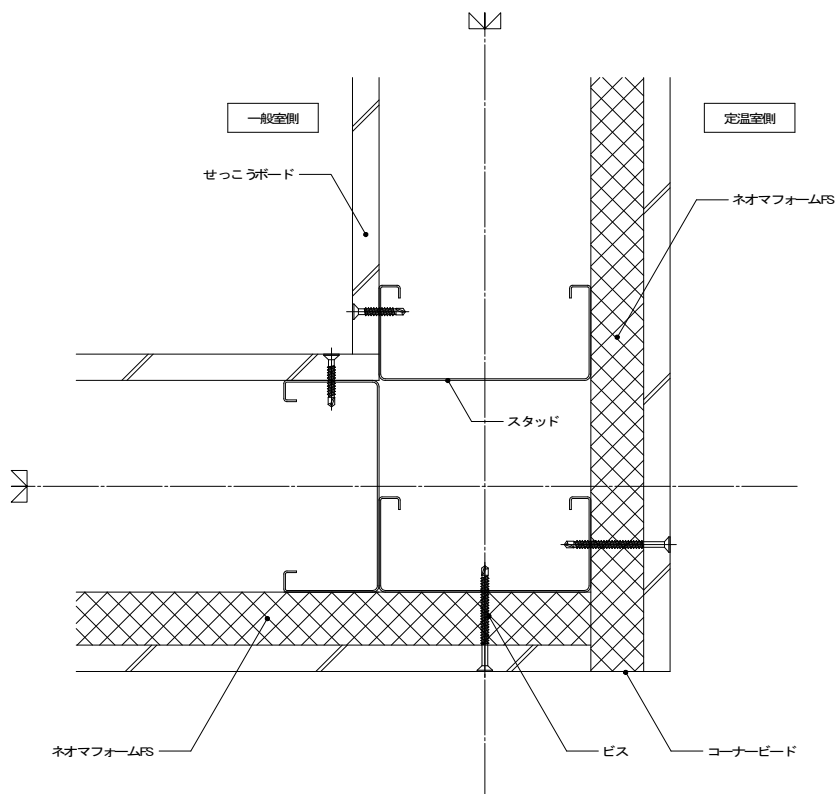
(9) 間仕切 矩計図



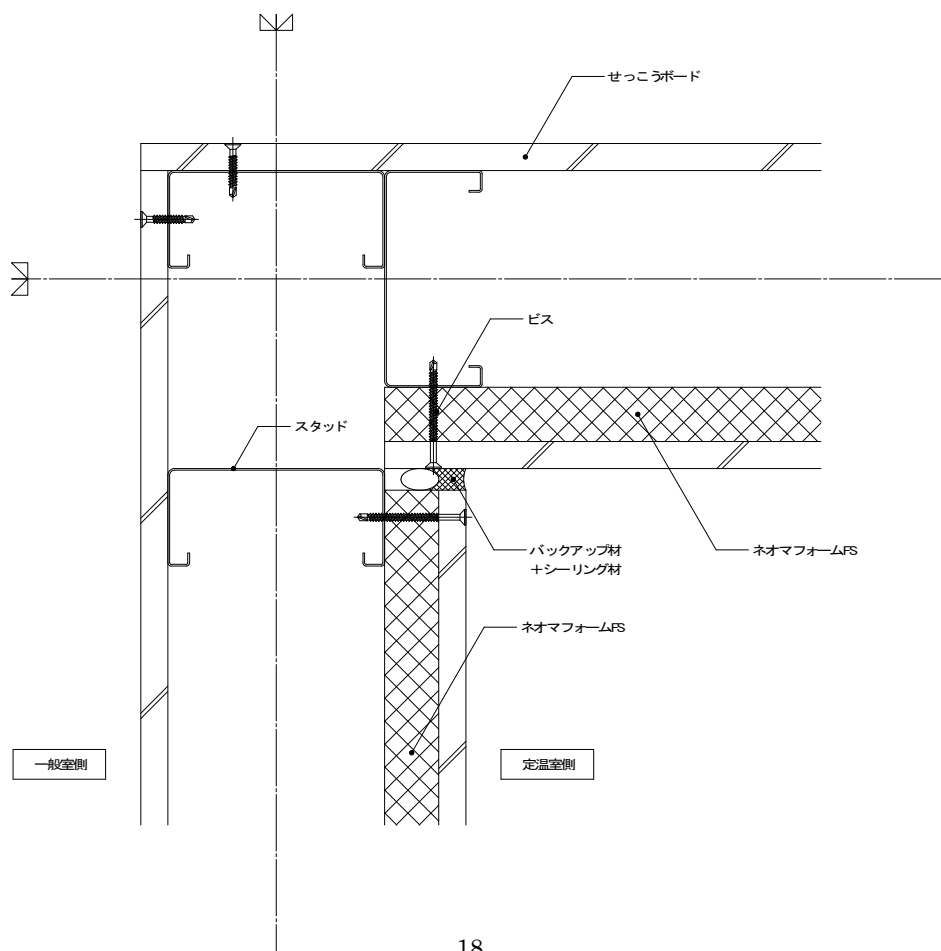
(10) 間仕切 一般部 断面詳細図



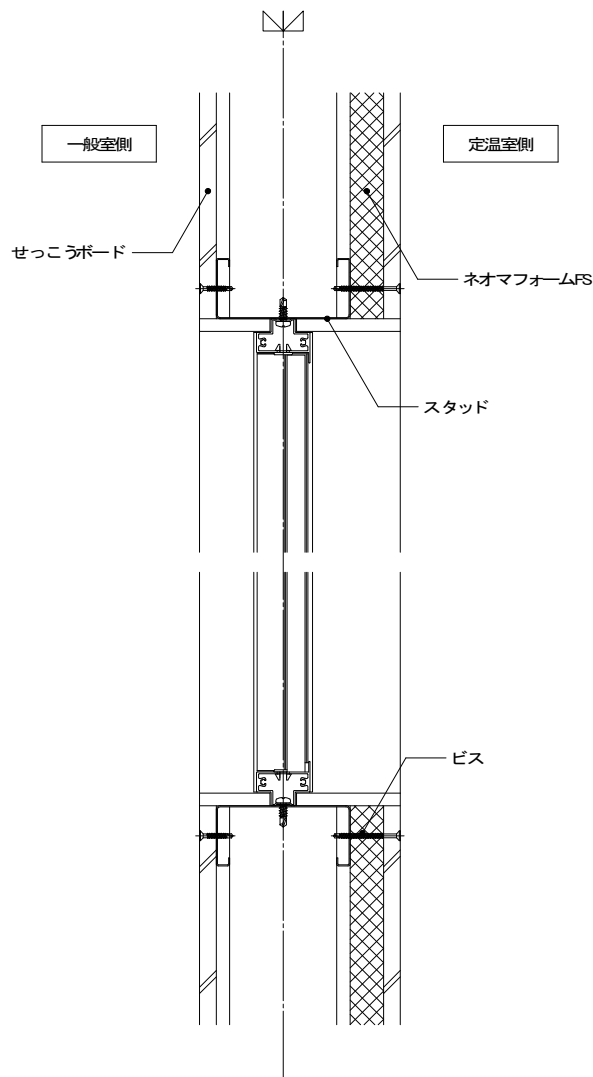
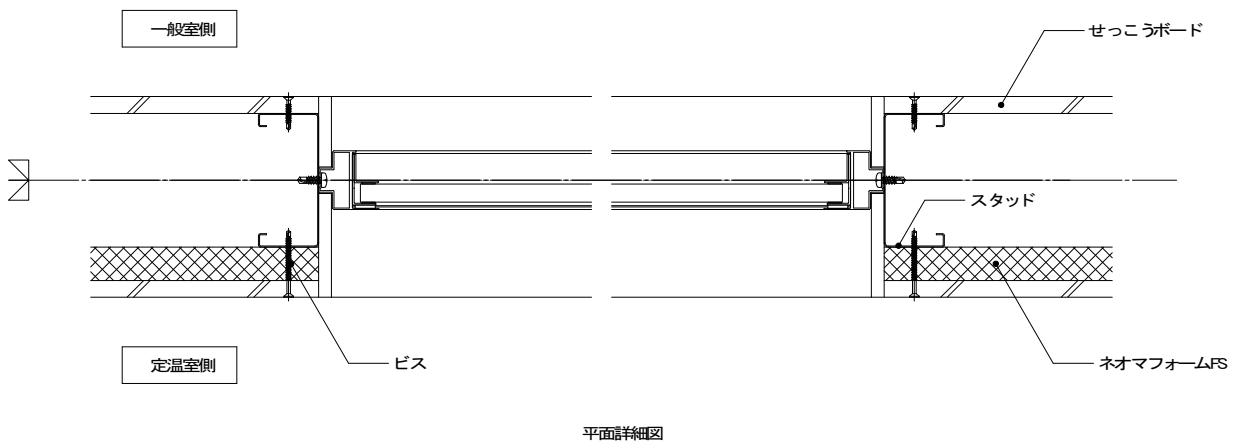
(11) 間仕切 出隅部 断面詳細図



(12) 間仕切 入隅部 断面詳細図

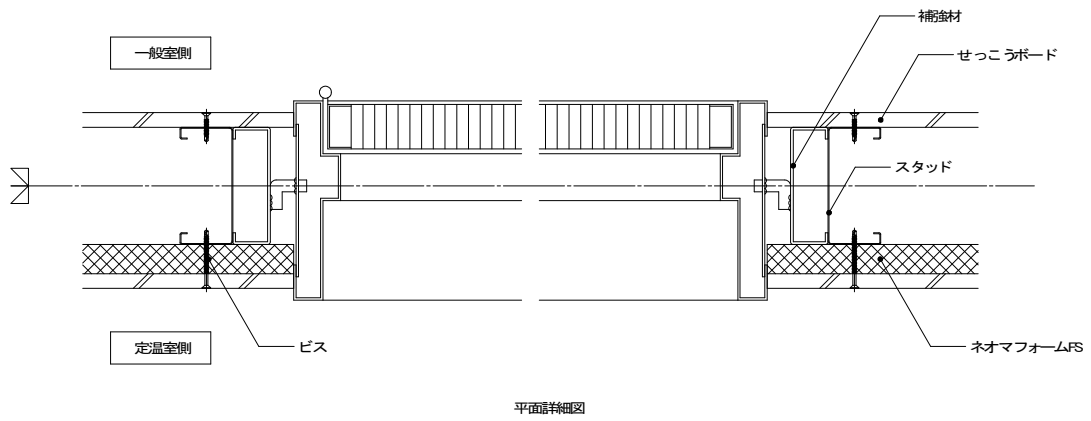


(13) 間仕切 開口部 断面詳細図

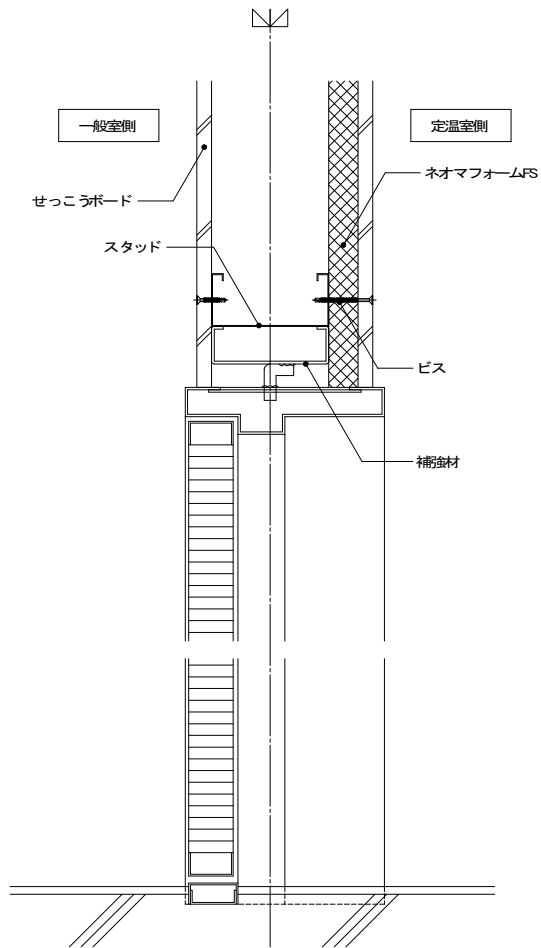


※必要に応じて断熱補強を実施してください。

(14) 間仕切 SD開口部 断面詳細図



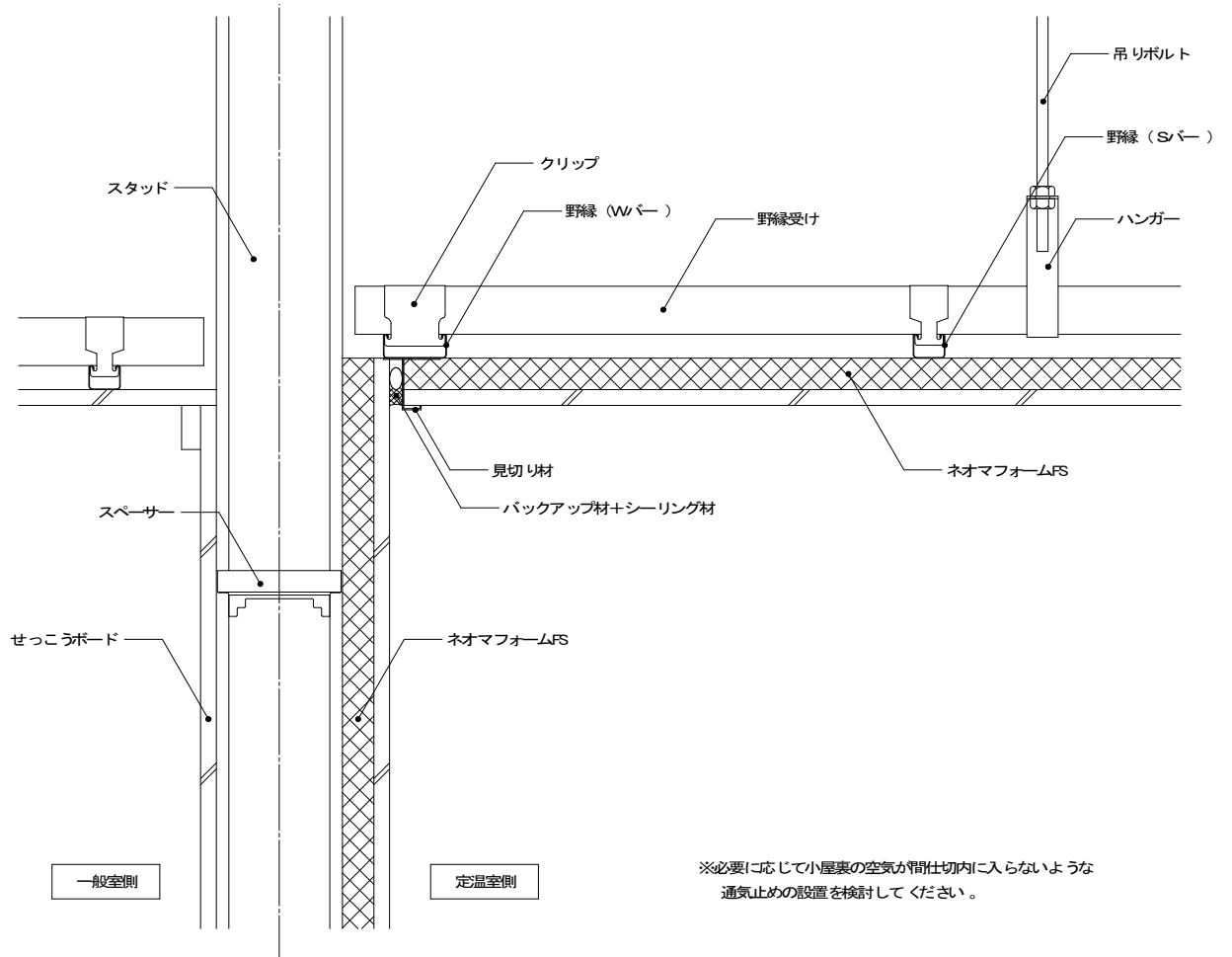
平面詳細図



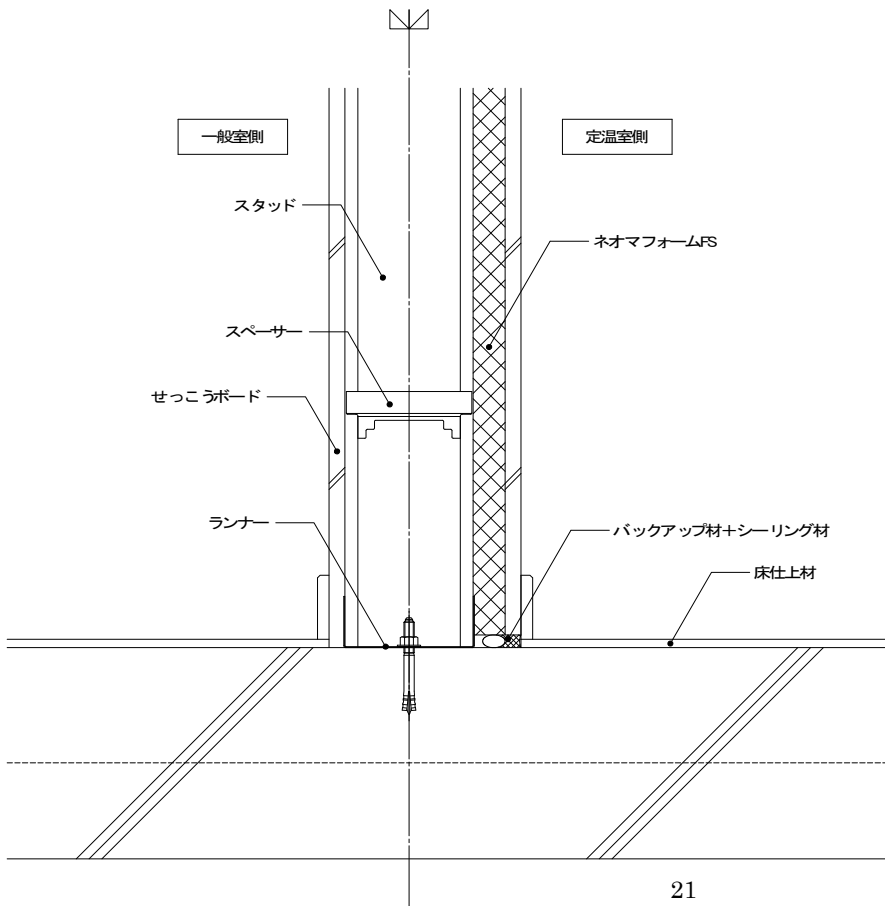
垂直詳細図

※必要に応じて断熱補強を  
実施してください。

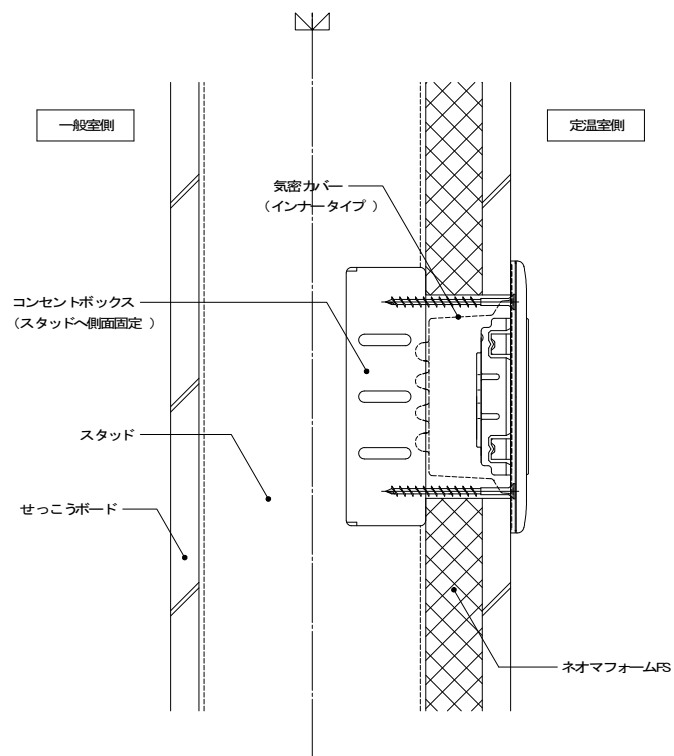
(15) 間仕切 天井切取合部 断面詳細図



(16) 間仕切 床取合部 断面詳細図

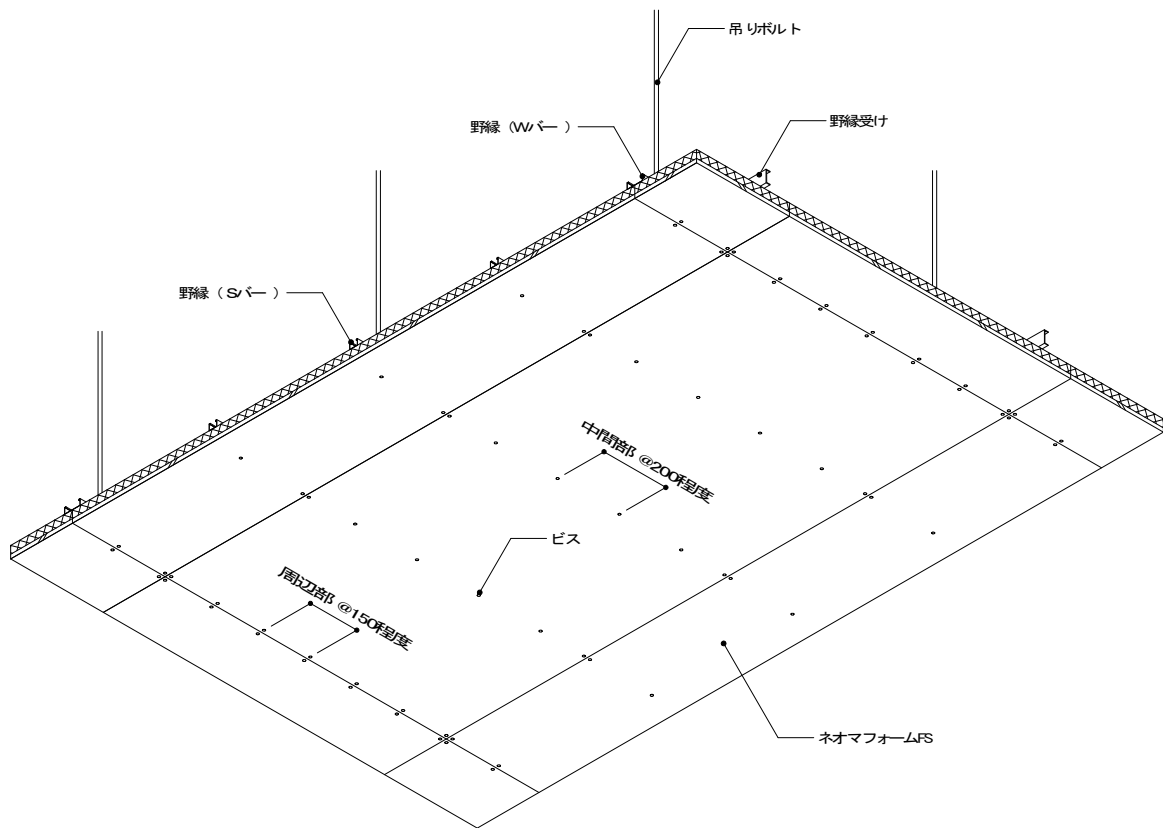


(17) コンセントボックス 断面詳細図 ※取付の詳細については機器メーカーにご確認ください。





(18) 天井 アイソメ図

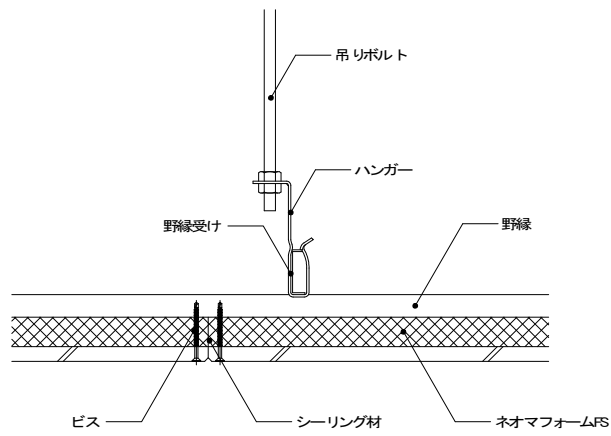
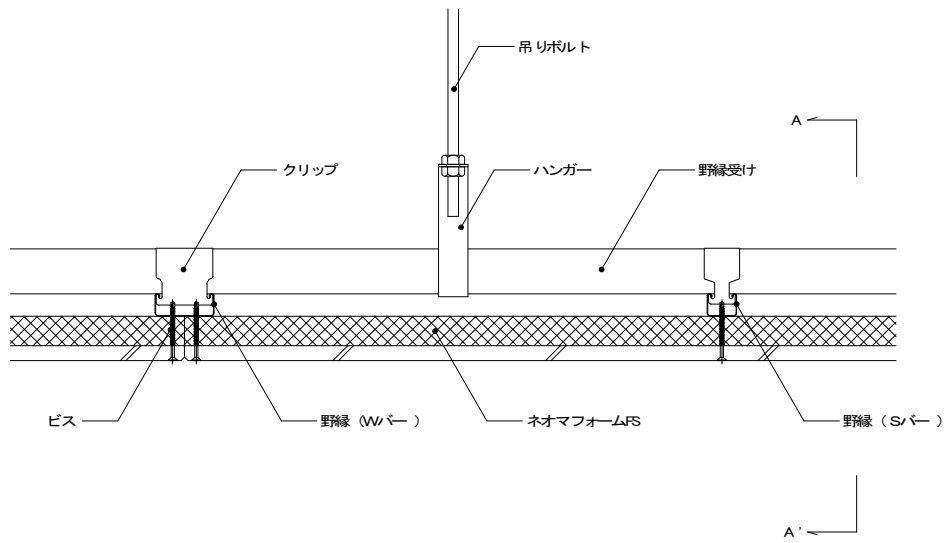


【ネオマフォームFS ビスピッチ】

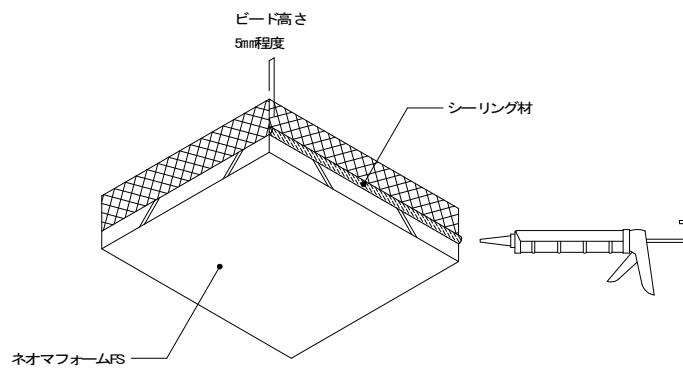
・周辺部 :150程度

・中間部 :200程度

(19) 天井 一般部 断面詳細図

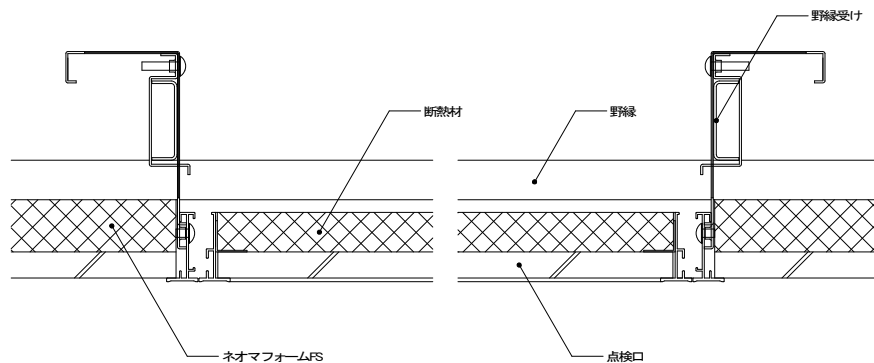


A-A' 断面図

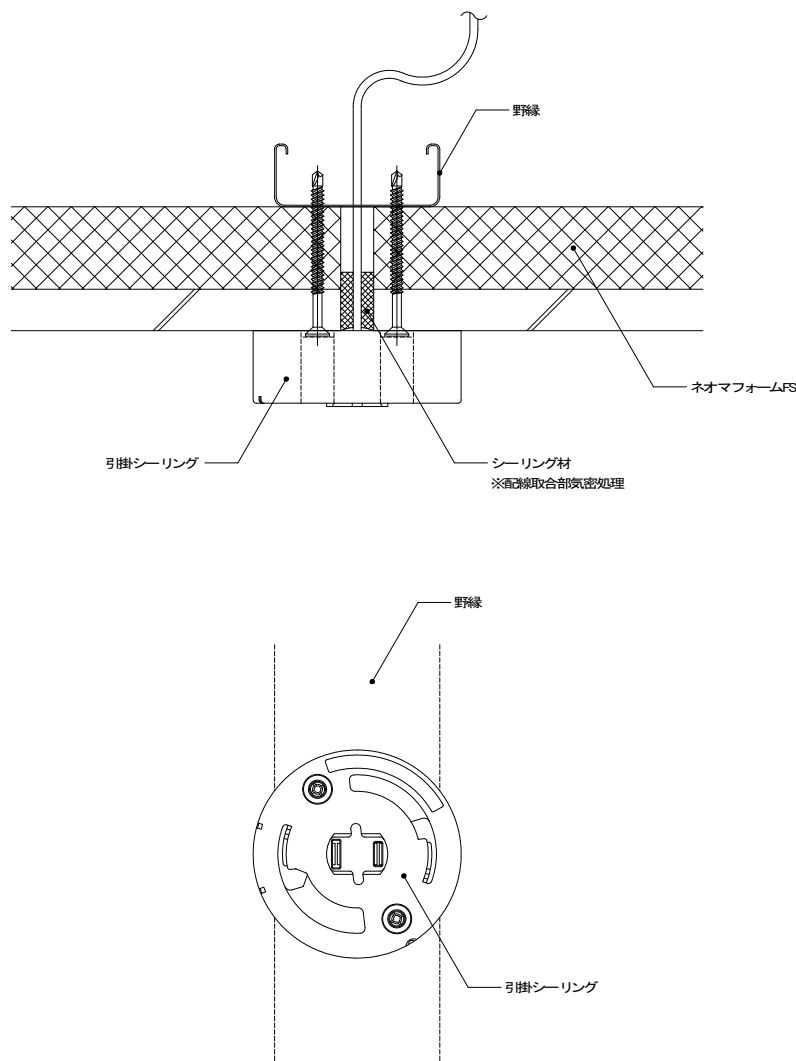


目地 小口のシーリング施工  
(野縁と直行する辺)

(20) 天井 点検口 断面詳細図 ※取付の詳細については機器メーカーにご確認ください。



(21) 天井 引掛シーリング 断面詳細図 ※取付の詳細については機器メーカーにご確認ください。



## ネオマフォームFS 取扱い注意事項

主に、ネオマフォーム FS に関する注意事項を中心に記載しております。併せて、せっこうボードメーカー様のせっこうボードの取扱注意事項もご確認ください。

### ①使用環境に関する注意

- ・常時、水分に接するような使用は避けてください。
- ・常時高温(100℃以上)で使用した場合は、ネオマフォームは熱伝導率等の物性の低下をきたします。

### ②保管・運搬時に関する注意

- ・保管には直射日光のあたる場所、水分の接する場所は避けてください。
- ・鋭角な器物との衝突や角当ては、損傷の原因になりますので避けてください。
- ・雨掛かりのないように、屋内で保管するようにしてください。

### ③施工時、作業時の注意

- ・局部荷重や衝撃により割れることがありますので、上に載ったり重量物を載せたりすることは避けてください。
- ・強風下での施工は風にあおられやすいので行わないでください。

### ④粉塵注意

- ・切断時には粉塵が発生しますので、切断器具には粉塵吸引装置を設け、また作業者は正規の作業服を着用の上、防塵マスク、保護メガネ等の使用をお願い致します。
- ・狭い場所で多量の切断作業を行う場合は、十分な外気の導入を行い粉塵量を低下させてください。
- ・ネオマフォームFSの粉塵が、目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。また吸引した場合は、うがい等を行い粉塵を洗い出してください(ネオマフォームの粉塵には健康上の有害性は認められておりません)。

### ⑤火気注意

- ・輸送・保管・施工にあたっては、火気にご注意ください。特にネオマフォームの切断粉塵には火が移りやすくなりますので、ご注意ください(ネオマフォームの制限酸素指数:28以上)。
- ・ネオマフォームを燃やした際、アンモニア臭が発生しますが人体に有害なレベルの量ではありません。

### ⑥変色注意

- ・ネオマフォームは紫外線にあたると変色しますので、施工後はすみやかに仕上げ等を行ってください。但し、変色による著しい性能低下はありません。

### ⑦廃棄時の注意

- ・ネオマフォームFSはせっこうボードとの複合品であるため、管理型処分が必要です。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき許可を受けた業者で適切な処分を行ってください。
- ・処理にあたり、ネオマフォームを圧縮・粉砕することは避けてください。

### ⑧その他

- ・ネオマフォームFSは、白アリ等の昆虫及び動物によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

## 免責事項

- ①本施工説明書に記載した取扱注意事項が行われず発生した不具合
  - ②設計者、施工業者等使用者の指示した仕様・施工方法に起因する不具合
  - ③設計者、施工業者等使用者から支給された材料・部品に起因する不具合
  - ④施工業者による施工、取扱いに起因する不具合
  - ⑤建物の構造・下地の変形・老朽化や外部からの衝突等、弊社の製品以外の外的要因により発生した不具合
  - ⑥使用者もしくは第三者の故意または過失による不具合
  - ⑦引き渡し後、構造・性能・仕様等の改変を行い、これに起因する不具合
  - ⑧瑕疵を発見後すみやかに届けがされなかった場合
  - ⑨開発・製造・販売時に通常予想される環境等の条件下以外における使用、保管・輸送等に起因する不具合
  - ⑩地震・台風等の天災、火災等の特殊要因が原因により発生した不具合
- ネオマフォームFSの詳細については、「ネオマフォーム建築・産資総合カタログ」等をご覧ください。
  - 商品改良のため、仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### 【ネオマフォームの海外でのご使用に関して】

ネオマフォームFSは日本国内での使用を前提として、設計・販売しています。

ネオマフォームFSを日本国外で使用する場合、製品仕様及使用国の法令、規格に適合しない可能性があります。」

## 旭化成建材株式会社 [http://www.asahikasei-kenzai.com/akk/insulation/neoma/]

本 社	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町1-105(神保町三井ビルディング)	TEL:03-3296-3531 FAX:03-3296-3535
札 幌	〒060-0002 札幌市中央区北二条西1丁目1(マルイ札幌ビル)	TEL:011-261-5550 FAX:011-221-2371
仙 台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町3-1-1(仙台ファーストタワー)	TEL:022-223-8171 FAX:022-211-9526
名 古 屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11(名古屋インターシティ)	TEL:052-212-2251 FAX:052-212-2257
大 阪	〒530-8205 大阪市北区中之島3-3-23(中之島ダイヤル)	TEL:06-7636-3838 FAX:06-7636-3828
福 岡	〒810-0012 福岡市中央区白金1-20-3(紙与薬院ビル)	TEL:092-526-2107 FAX:092-526-2492